



笹下地区 令和5年度(第2回)意見交換会

(敬称略・参加者の写真はぼかしており、直接の発言者とは関連性があるとは限りません)

1 開会あいさつ

連合町内会・地区社会福祉協議会 荻久保会長

本日は意見交換会にご参加ありがとうございます。第4期地域保健福祉計画が中間期の振り返りの時、笹下地区は見直しをしないとしています。今日はわたしのふるさと笹下の中の3世代交流について話し合う、ささげ祭りが交流になっているのでテーマとします。



2 地区別計画と意見交換会について

(1)意見交換会について

大鷹丸総務

青少年指導員として、実際に携わっているが、青少年指導員としての考えはわかるが子ども会やシルバーの意見はわからないので、意見交換会でいただいた意見を実行委員会等で生かしていきたい。

わたしのふるさと笹下として作った地域福祉保健計画だが、地域に浸透しているとはいきれないので、意見交換会の開始前に説明をしたい。

(2)地域保健福祉計画・地区別計画について

港南区社会福祉協議会 加藤局長



地域福祉保健計画は市計画、18の区計画、港南区内でいえば15の地区別計画で構成されている。地域福祉保健計画に関連して17.8%という数値がある。これは、全国の中で地区別計画を策定している割合である。全国では策定していない地区が多いことがわかる。横浜市では、地域の皆さんが自分たちの地域を何とかしたいとの思いで地区別計画を作っている。全国の中でも先を走って策定してもらっている。この地区別計画は、区ホームページで公開しているので、策定していない80%強の他自治体が策定することを考えたときに笹下の地区別計画を見て参考にするかもしれない。

地域福祉保健計画は、目標に『ひとり一人がつながり、見守り・支えあえるまちをみんなで育てる』と書いてあるとおり、行政が策定したものではなくみんなで考えたものである。また、地区別計画は、皆さんがこれまでやってきたものを改めてまとめたものとなっていると思う。5年の計画として時間を区切って作られているが、地域の活動は10年・20年と続いているものがあるよう長いスパンで考えるもの。この意見交換会は、前を向きながら今までどのようなことをやってきたかを確認する場であると考えている。計画のこの部分ができたから、これからはどうしようか、といったことを話せばよく、言ったからやらないといけないというものではない。夢を語ってもらえる場で良いと思うので忌憚のない意見をお願いしたい。



(当日 会場の様子)

(3)わたしのふるさと・笹下について

総務 大鴈丸

笹下地区では「楽しく暮らす、誇りに思うまち」を目指して第4期計画を作った。テーマとこんなまちにしたいという思いを掲げているが、このテーマと思いは普遍的な笹下地区の思いであり、平成28年の3期計画からほぼ変わらずに受け継がれている。この計画ではテーマを5つ掲げ、具体的な取り組み目標を挙げているので、後程見ておいてほしい。

今日の意見交換会のテーマは3世代交流です。笹下地区では「3世代が参加・交流するまち」に向かって、様々な行事やイベントを開催した。その中でもささげ祭りです、長い歴史があり、だからこそいろいろと変わってきたり、課題もあるかと思えます。意見交換をする中で、来年度に向けて意見を取り入れることもできるので、活発な意見交換をお願いしたい。

「座談会」では、自分もパネラーの一人として参加する。ここからは、区役所にコーディネーターとして進行を引き継ぐ。

3 座談会(連合部会から)

港南区区政推進課 (以下、コーディネーター)

ささげ祭りのことについて、みなさんでわいわい話しあいたいと思う。本日は、スポーツ推進員、青少年推進員、子ども会の方をパネラーとして話の口火を切ってもらおう。そのほか、会場からも意見をいただく。

(会場では過去のささげ祭りの様子が映されている)

懐かしい画像を見てもらってる。夜の様子などいろいろな演目があることがわかる。コロナ禍を経て形が変わっていき今後どうなっていくのか、みなさんで考えるタイミングだ。

(パネラー:スポーツ推進員の梅戸、青少年指導員の大鴈丸、子ども会の大原)

(1)パネラーから

スポーツ推進員

コロナ明けでたくさんの方が来てくれて盛り上がった。やりがいがあった。苦労したのは、中学生に放送をお願いしたところ、進行のすり合わせをやり切れなかった。また、最後の小学生リレーで、アンカーが全員同じビブスを着ていたのでタイムが測れなかった。これらが次回への反省点だと考えている。次回に生かしたい。

青少年指導員④

道具係であった。競技ごとに道具を並べている。それらの道具を港南中学校の倉庫を借りているが、倉庫は中学校も使っているので、どこに置いてあるのかわからなくなったり、捨てられたりしている。競技の中では他の部会と連携して実施しているものがあるが、メンバー交代などでノウハウが引き継がれず、苦労した。

連合子ども会

当日は、競技の招集係であったが、祭りの開催前に参加者を集めるのが大変だった。子ども向けの競技が多いので子ども会が頼まれるが、子どもの数が減っていたり、習い事を土日に行っている子どもも多く、集まらない。

また、大人を集める場合、保護者へ声をかけ、子どもと保護者と一緒に参加してもらう形になるが、のちにもっと上の世代の方々からもっと競技に参加したかったとの声をいただき、そちらの方々に声をかけるべきだった。子どもと保護者を多く集めたことで、同じ人が複数の競技に参加することになり、忙しかったという声もいただいた。もう少し幅広に大人に声掛けをすればよかった。競技時間が長いと子どもが飽きるとの声もある一方で、短くすると忙しくなってしまう。

また、子ども会は役員が毎年変わるので「ささげ祭り」とは何かとか競技内容について聞かれることが多い。説明はするが、競技に参加して初めて年齢的な善し悪しが出てくる。競技内容については、子ども会に聞いてもらうより、町内会に聞いてもらいたかった。



コーディネーター

ささげ祭りを開催してよかったこと等について意見を欲しい。

スポーツ推進員

500人くらい来てくれた。多くの方が参加してくれたことがよかった。同じテントで子どもから高齢の方まで一緒に応援したり、ご飯を食べたりすることができたのがよかった。

青少年指導員④

青少年指導員は裏方で競技には参加しないが、親子で楽しくやっている様子を間近で見られたのがよかった。周囲で子どもたちや高齢者が応援している姿を見ると、いいなと思った。自分たちも一緒に応援したいと思った。

連合子ども会

子どもが楽しそうだったのがよかった。それを見ていた保護者も楽しそうだったのでよかった。なかなか子どもが集まらない競技などもあったが、現場でほかの人たちとそうした苦労を共有するなど保護者同士の距離が近くなってよかった。お昼などをみんなと一緒に食べる楽しさもあってよかった。

コーディネーター

ささげ祭りを3世代交流として考えたときにどうなのかということ話し合ってもらうが、ささげ祭りに行ったことがない方はいるのか？（挙手する人なし）いったことがある方が全員！3世代交流としてささげ祭りを挙げているが、そうなっていると思うか聞いてみたい。（挙手する人半分くらい）思っている方が、半分弱くらいか。

青少年指導員④

青少年指導員の中でも聞いたが、裏方なので交流している感じはわからなかった。今年のささげ祭りに限れば、子ども中心に感じられた。高齢者向けの競技がなかったように感じる。子どもがいる2世代までのように感じた。あくまで今年のささげ祭りについての印象である。



(2)会場からも自由に意見

コーディネーター

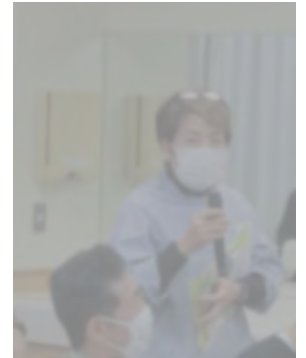
高齢者の参加できる種目が少なかったことに絡めてシルバーとしてはどうだったか。役目もあったと思うが参加者としてどうだったか。

シルバークラブ④

これまで多く参加してきたわけではないが、今年参加してみて、高齢者の参加できる種目はなかった。テント等で食事をしたりしていたのはよかったが、競技に関しては出られるものがあれば高齢者も参加する気になるだろう。

コーディネーター

町会ごとにテントがあり、そこでは顔見知りになれたが、本編の競技としては出られなかったのでさみしかったということですね。



これまで参加した中で、子どもから高齢者まで多くの人が参加できた競技などを知っている人はいるか。ささげ祭りは毎年変わっていくが、こういう年があったとか覚えているか。

民生委員・児童委員

高齢者向けにはグラウンドゴルフのような競技があった。祭りにきて子ども顔を見て元気をもらおうというのも交流だと思う。地区別計画の目標を知っている民生委員がいて、企画段階から地域の町会などでも話し合いができれば3世代交流につながったろう、とのことだった。今年は、CPによる健康チェックなどもあり、そうした参加のしかたもありだろう。いろいろな参加のしかたがあるので、3世代と一緒にできる競技等については、少しずつ考えていけばよく、3世代にはつながっていると思う。

コーディネーター

広報委員の中でささげ祭りについて話し合いをしてもらったようだ。どうだったか。

広報委員会

広報委員会は各部会・町内会からメンバーを出してもらっているので、幅広い意見がもらえる。3世代交流については、感じるか感じないかの中間的な意見が多かった。参加した人には、おおよそ楽しんでいたようだ。シルバークラブの高齢者の方からは、久しぶりの人に会えたのがよかったという意見があった。具体的な競技では、高齢者が参加できるものが少なかったのかなと思う。ただ普段会わない高齢者と子どもと一緒にテントで食事をするなどで顔見知りになるなど3世代交流として一役買っていると思う。競技をやっている人とその関係者、それ以外の人では温度差が違う。コロナ禍を経て変わったところに対し大幅な変更をすることで新しいささげ祭りになるのではないかと思う。3世代が一緒になってできることを皆で考えていけるといいのではないかと思う。そもそものささげ祭りは、個々の町会の祭りの集大成なのかと思っていたが、現在ではそういった要素は無くなっている。例

えば、町内会ごとに得意な模擬店を出すようなやり方もあっていいのではないか。また、子どもたちの主体性を上げようとするのであれば、参加者としてだけでなく企画から中学生を入れていくなどすれば、中学生が小学生の参加を呼びかけるなどの新しい形も期待できるのではないか。そうした運営の形も変えていってよいのではないか。

コーディネーター

ささげ祭りでの子どもとは？中学生の参加者が少ないとも聞いたが。

連合町内会長 荻久保

中学生の場合は、部活があって参加してもらうのが大変。テント張りなどのお手伝いはしてもらっている。また、よさこいソーランの踊りをしてもらっている。競技への参加というより、中学校として参加してもらっている。

コーディネーター

写真でもわかるが、本当にいろいろなことをしてきたようだ。何かいいエピソードがあれば聞かせてほしい。

民生委員・児童委員

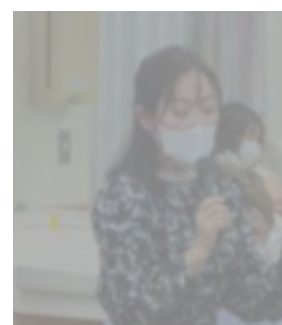
タレントを呼んだこともある。夜までやっていて、町会が店を出したり、花火をしたりしたこともある。町会対抗のカラオケ大会もやったが、子どもが参加できないので変えていった。勝敗も、町会ごとの総合得点での勝敗ではなく、町会ごと競技ごとの勝敗でとどめることにした。

防犯指導員

時間が少なくなってきたと感じる。そのためにプログラムを少なくする必要性が出てきて、参加できる人も少なくなってしまう。昔は、3時ころまでやっていた。昼を各町内会で一緒に食べたりもしていた。また、町会では役員が3世代の一番上の世代の人ばかりで、子どもは大体10歳まで。交流できるのは2世代まで、一番上の世代は競技に参加しない。もっと時間が長ければ、プログラムを工夫してもっと3世代交流につながる競技を増やせる。

コーディネーター

小学生はいるけど中学生がいなかったり、小学生の親はいるけど競技に参加してもらおうと、高齢者の競技参加が難しくなるといった意見だった。実はすべての世代が同じように楽しめるというのは難しいのではないかという話だったと思う。



主任児童委員

当日のことを思い出したが、商品係で校門近くに立っていたところ、赤ちゃん教室で顔を合わせた人がふらりと現れ、誰でも参加できるのかと問われたが、ちょうど参加できそうな競技が終わったところだった。町会のテントに行けば、昼も食べられると案内したが、ささげ祭りを知らない若い住民も増えてきているのでそういう世代を拾ってあげたいのではないかと思った。



コーディネーター

いろいろな世代が急にきて楽しめるというのも難しいかもしれないが、あるといいだろう。ほかにあるか。

町内会会長

団塊の世代である。20代のころからささげ祭りに参加してきた。もともとはスポーツ大会と祭りとを別々に行っていた。当時のスポーツ大会は参加者も多く、町内対抗で盛り上がった。いつしか、スポーツ大会と祭りとを一緒にやるようになった。今後どうなっていくかは皆で考えていってほしい。

コーディネーター

ささげ祭りで驚くことは、毎年考えて更新して変えていくと聞いてびっくりした。コロナ禍を経て、また、見直したり、変えたりしていきやすい時期だと思う。今日は、そういった場ではないが、いろいろな意見を聞いてみたい。嫌なことでもいい。

広報委員会⑧

刑務所の職員が、たまたま通りがかったが盛り上がっていて入りづらいとのことだった。参加申し込みをしていなくても各町会のテントには入れる雰囲気があると良かったろう。祭りの雰囲気だけでも感じてもらえるといい。

コーディネーター

いわゆる身内のような形で盛り上がっていると入りにくいというのはあるだろうが、誰でも入りやすいという行事はまた魅力的だろう。

消費生活推進員

消費生活推進員は、景品担当だったが、順位ごとだけでなく、競技ごとに景品を変えていたので難しかった。これは、同じ子どもがいくつもの競技に参加するので、同じ景品にならないようにとの配慮だった。また、大人向けと子ども向けと景品をちがうものとしてもいた。いろいろなことを同時に考える必要があったので、あえて一人で担当したが、苦労をした。前日に景品を中学校の防災倉庫に運んだが、どうしまっているのか工夫が必要だった。当日の配付について、これまでとは

違って、一か所で配付するようにしたが、これは周囲の方がやり方について参加者に伝えてくれたのでスムーズだった。間違えないように景品を渡すために苦労したが、やってみて初めて分かったこともあった。

コーディネーター

景品も楽しみの一つだと思うが、準備に大変苦労されたということですね。



シルバークラブ⑧

ずいぶん昔になるが、保活の健康体操の一環として毎年踊りをやってきた。当時は、3世代交流とっていたので、今もそうだと考えている。笹下台団地自治会だが、子どもが少なく集めるのが大変との声を聞いて切実だと思っている。この場の話で3世代交流とは違ったささげ祭りができるのかと思ってワクワクしている。

保健活動推進員

受付担当をやったが、来賓者の名簿等を当日もらった。加えて、予定時間前に来賓者が来るなどしたため、十分な対応ができなかった。また、一般受付と違ってプログラムの用意がなく、対応できなかった。そのほか、委員会では健康チェックに参加できたのがよかったとの意見があった、一方、ブラスバンドの演奏は長かった。保活は高齢者が多く、祭りにきても参加できる競技がなかった。この点は、考えてほしい。



コーディネーター

運営側とか、競技のみとか関わり方はいろいろある。どこかで楽しかったら、その積み重ねが楽しい思い出となる、というのが無理のない方法だろうかと感じた。ほかに参加者としての意見を聞かせてほしい。若い世代として意見を聞かせてほしい。



青少年指導員⑧

青少年指導員になる前は単なる参加者として、青少年指導員となってからは運営側として関わっている。高齢者が参加できる競技、世代を超えて参加できる競技とのことだが、単に体を使うだけでなく頭も使う競技なら3世代が一緒になって考え、楽しめるのではないか。あるいは、参加者グループの合計年齢縛りのような条件を付けても面白いのではないか。入ってきにくい状況については、何をやっているのかわかるような、看板などを掲げてもいいだろう。イベントは固定メンバーになりやすいが、夏祭りなどは参加しやすいので、その際に勧誘してみてもいいだろう。また、中学生の企画段階からの参加には賛成である。子どもなりに高齢者とつながるような発想が出てくるのではないか。中学生たちがメリットを感じるような場を提供してあげるといいだろう。自治会役員になった中学生の話聞いたことがある。



コーディネーター

中学生を巻き込んでいる地区は実際にある。声のかけ方などは工夫がいるだろうが。これまでの話を聞いてパネラーから何か意見をもらいたい。

スポーツ推進員

実行委員会として、幅広い人に参加してもらいたいと考えている。子どもから高齢者まで出られるような競技を考えたつもりだったが、町会まで伝わり切れず、子どもがたくさん出てしまったような状況になってしまった。今回の反省なども生かしながら、また、考えていくので協力してほしい。

コーディネーター

3世代交流をしようと思っただけではなく、結果として3世代交流となった、というのがささげ祭りを3世代交流の場たらしめているのかもしれない。今日、この場に3世代がいるわけではないのに多くの人が3世代の話ができていることを考えると、ささげ祭りが世代交流の大事な行事なのだということがわかる。来年度のささげ祭りを考えていくときにも意見を聞いてほしいし、今日のアンケートでも意見を寄せてほしい。

大鴈丸総務

3世代交流について話すだけでもいい交流となったと思う。意見交換会としても活発に意見が出た。3世代交流やささげ祭りへの皆さんの思いだと思う。

小林保健福祉センター長



ささげ祭りに参加させてもらった。町会のテントでは皆さん楽しそうにしていた。今日の意見交換会でもよかった。日常を楽しく過ごすことが、地域福祉保健計画を達成させるものである。計画は作ることが目的ではなく、皆さんが楽しく過ごすためのものである。そのための一つの指針を皆で考えようというものである。これからも楽しく町内会活動等に関わってほしい。

4 閉会のあいさつ

連合町内会・地区社会福祉協議会 清水副会長

連合副会長として、ささげ祭りは3世代交流として意味があると、今日の意見を聞いて感じた。ただ、現場はそれでいいが、役員としては少々不満が残っていると感じた。原因としては、振り返らないからではないか。振り返らず常に更新しているのはそれでいい。ただ、今日は少し過去の方を見てみた。役割が変わると立場が変わるので、また見方が変わるかもしれない。なってみてわかることがある。当事

者意識は大切だが、それが強くなりすぎて他が見えなくなっているといったことが起きているのではないか。ささげ祭りが3世代交流として機能しているが、中心となって関わっている人が不満を持つということはそこを解消しないといけな
いだろう。そのためには当事者意識をもって相手のことを考
えるといことではないか。自分の経験でもそうだった。そう
した意味で、実行委員会ももう少し時間をとっていいだろ
う。



来年もいいものができるかと思うので、来年もご協力をお願いしたい。